

氏名：岡町 花子	電話番号：06-0000-0000
住所：豊中市岡町北1-1-2	
Eメール：toyono@toyonochiiki.tcci.jp	
創業（予定）年月：2022年 10月	創業形態（どちらかに○）：法人 ・ <b>個人事業</b>
法人名・屋号（未定の場合は「未定」とご記入下さい）：未定	
所属商工会・商工会議所 豊中 ・ 池田 ・ 箕面 ・ 豊能 ・ 能勢 ・ <b>その他(加盟無し含む)</b> ※該当するものに○をつけて下さい。なお、商工会・商工会議所への所属の有無は審査には影響しません	

【ビジネスアイデアの概要を下記にご記入下さい。必要に応じて枠を拡張できますが、A4 3枚を上限とします】

1. 事業テーマ（30字程度）
地域課題から環境問題まで、小さく始めるシェアカフェ事業
2. 何を行うか（どのような商品・サービスをどのように提供するか、ご記入ください）
豊中市内の空き家を活用して、シェアカフェを運営する。また、シェアカフェの運営にあたり排出されるコーヒー抽出残渣を使ってシイタケ等のキノコ類を栽培し、シェアカフェ借主や近隣住民等に「新鮮無農薬栽培」として販売する。
3. ターゲットは誰か（どのような方・企業に対して、どのようなベネフィットを提供するものか、あるいはどのような課題を解決するものか、ご記入ください）
シェアカフェは週末起業等を希望する近隣サラリーマンおよび将来飲食店開業を目指す方を対象とし、起業リスクを最小限に飲食店にチャレンジできる点をアピールする。キノコ類は安全な食品を食べたい方には「すぐその〇〇さんが作った無農薬野菜」という安心感を提供できる。また、空き家活用により地域の活性化や防犯にも役立つ。
4. 優位性・競争力（競合する、あるいは競合し得る商品・サービスと、それに比べて有利な点、およびそれを実現できる理由（自己の経験、技能、職歴、人的ネットワーク等）について、ご記入下さい）
自身が豊中に長年在住しており、チェーン店と比べて地域の実情に詳しいこと、前職の経験でデザイナーや設計事務所とのつながりも多いこと、空き家へは最小限の改修で済むため初期費用が比較的少なくて済むこと、自身には仕入れがほぼ発生しないため損益分岐点が低いことから、小回りの利くビジネスとして、一般のカフェ事業に対して優位性・競争力に勝ると考えている。前職では(株)××にて飲食店出店企画（計22店）を経験している。
5. 地域とのかかわり（活用する地域資源、又は本事業による地域への貢献について、ご記入下さい）
各地で課題が広がっている空き家問題を、人口40万都市で活用できる地域資源と捉え、地域で創業を考えている方やフルタイム勤務が難しい方に就業の機会を提供していくことのほか、コーヒー抽出残渣を活用した無農薬しいたけの栽培については、地域の学校や塾等からの見学も受け入れる体制を整えば、SDGsの推進や食育といった面で、教育という意味でも地域に貢献していけると考える。また、シェアカフェを軸に地域に人が集まることによって、空き家問題の課題である治安・防犯にたいしても貢献できる。
6. PR（ご自身の経歴、応募アイデアを考えたきっかけ、事業に対する熱意など、自由にご記入下さい）
長年豊中で育ってきた身として、地域のコミュニティの復活や、様々な立場の人が集まることによる地域の活性化、またSDGsが身近なところから取り組めるものであることを知っていただく、という3つの目標を同時に、かつ小さな規模で始められる取組を考えた結果、今回のアイデアに結び付けました。豊中発・豊能地域発のモデルとして、空き家問題・就労問題の解決、環境意識の向上等に寄与できる取組として発展させていきたいと考えています。